

フォト

PHOTO

あっ！私が作ったおひなさま！

2/20~24
月 金

ひな飾りづくり

南部児童館で、下校後の小学生たちがひな飾りづくりを行いました。

一生懸命折り紙や「でんぐりシート」を使って、鯛、ひし餅、おひなさまなどを作っていました。

でんぐりシートとは、薄紙40枚を重ねたペーパークラフト素材のことです。広げるとハチの巣のように隙間が開くため、子どもたちは興味津々に手にしていました。

作ったものが飾られると、子どもたちは「私のはどこだろう？」と探し、見つけた時にはニッコリ笑顔になっていました。

参加した春木台小学校の野々山 夕真さんは、お友達と一緒に作った飾りを背に「自分が作ったものが飾られて嬉しかった。おひなさまの日にお菓子を食べるのが楽しみ」とひな祭りを楽しみにしていました。



おいしい給食にみんなニコニコ♪

2/27
月

町内飲食店が保育園給食とコラボ

和合にある人気のカフェ[nico cafe]が監修した「にんじんとさつまいもの豆乳ポタージュ」が保育園給食のメニューとして提供されました。

中部保育園では、nico cafeのオーナーである榎原 未来さんが園児と一緒に給食を食べました。榎原さんは「お店のメニューは具材が大きいので、にんじんをすりおろすなど小さい子でも食べやすいように工夫した。にんじんが苦手な子も、このメニューで美味しさに気付くきっかけになればうれしい」と話されました。

園児の安藤 蒼真くんは、おかわりしたポタージュを飲みながら「いつものスープよりおいしい！」と笑顔で教えてくれました。

また、この日の給食は、町立保育園児の食物アレルギー対象食材を全て除いた「にこにこ給食」として提供しました。



中止等になることがあります。詳しくは、問い合わせ先へご連絡ください。

ニュース

NEWSな

白熱した地区対抗戦

2/1
水

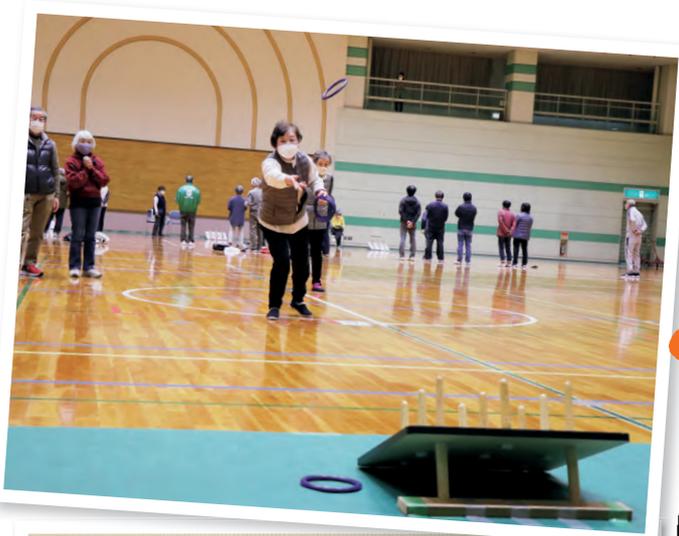
老人クラブ輪投げ大会

町と町老人クラブ連合会が主催する輪投げ大会が、3年振りに町総合体育館で開催されました。

町内の11地区が参加し、総勢65人の選手が優勝を目指して戦いました。

大会の結果は、下表のとおりでした。団体優勝した和合老人クラブに優勝の要因を伺うと「日頃のたゆまぬ練習の成果」と満面の笑顔で答えてくれました。努力の大切さが実を結んだときの喜びの大きさを痛感する大会でした。

	団体の部	個人男性の部	個人女性の部
優勝	和合	磯村 義邦さん (和合)	近藤 陽子さん (御岳)
2位	御岳	野々山 和夫さん (部田山)	達村 宏子さん (御岳)
3位	白鳥	市川 恭匡さん (和合)	片出 裕美さん (御岳)



懐かしい学校生活

2/14・17
火 金

とうごう学び舎プレ開校

令和5年6月の開校を前に、14日に高嶺小学校、17日に音貝小学校でとうごう学び舎をプレ開校しました。

とうごう学び舎とは、高齢者の人たちが小学校で授業を受け、給食を食べるなど、懐かしい思い出に浸りながら学ぶ場です。

高嶺小学校の授業は2時間で、1時間目は保健体育で飲み込む力の大切さなど口の健康について学び、2時間目は図工で筆ペンを使って自分だけの書を作る、おのれしょ己書作りを行いました。

参加された齋藤 秋子さんは「凄く楽しかった。己書作りは最初は難しそうと思ったが、意外と簡単に作ることができてよかった。給食のチャーハンがパラパラで、作り方を聞きたいくらい美味しかった」と話していました。

6月から町内全小学校区で開校予定ですので、ぜひご参加ください。

(申し込みが必要です。詳しくは、5月号広報をご覧ください。)



これまでも、これからも。地域の安全安心を誓う

3/5
日

消防団入退団式

消防団にこれまでご尽力いただいた団員の退団式と、これからの地域防災を担う団員の入団式がいこまい館で行われました。

勇退される4人の団員を代表し、和合分団の柘植 真吾さんは、消防団員に向け「諸先輩方が築き上げてきた歴史ある伝統と奉仕の精神、社会貢献の心を持って、今まで以上に充実した消防団活動を送ってもらうよう期待しています」と話されました。

また、新たに3人の団員を迎え、参加者全員で「火の用心」を三唱し、改めて地域の安全安心を守る決意を表しました。



「みんながいたから」最高の3年間

3/7
火

町立中学校卒業式



温かい日差しに包まれながら、町内の全中学校で卒業証書授与式が行われ、483人の卒業生が学び舎を旅立ちました。

新型コロナウイルスの流行と同時に入学し、感染症対策が続く生活の中でも、仲間たちと共に前を向き続け、切磋琢磨した3年間。

東郷中学校では、「卒業記念合唱」が行われ、学校生活を支えてくれた人たちへの感謝の気持ちを乗せた、美しい歌声が会場中に響き渡りました。

東郷中学校卒業生代表として答辞を読んだ笠井 唯花さんは「3年間マスク越しだったけど、みんなと一緒にだったから最高の3年間だった！」と、とびきりの笑顔を見せてくれました。

